****
★☆★☆★ メルマガ 素形材（第３８９号）★☆★☆★【発行日：2022 年 12 月 16 日】
****

◆◇　本号の目次　◇◆

Ａ．素形材センター事業トピックス【☆●●●】
Ａ-1．オンライン素形材技術セミナー　New★
「製造現場におけるデジタル技術活用　研究・実用化最前線」
～デジタルツイン・AI 等による最適化、予測精度・生産性・品質向上への取組み～
Ａ-2．素形材技術セミナー　New★
「鋳造欠陥における『新なぜなぜ分析手法』と実際の現場での活用事例の演習」
Ａ-3．素形材技術研修講座「鋳鉄の生産技術」のご案内
Ａ-4．オンライン新素形材産業動向研究会のご案内　New★
「車載用全固体電池・電力貯蔵蓄電池の技術開発動向」

Ｂ．素形材センター出版物情報【●☆●●】
Ｂ-1．月刊誌「素形材」令和 4 年 12 月号（Vol.63,No.12）近日発刊　New★

Ｃ．素形材業界関連－募集・トピックス－【●●☆●】
Ｃ-1．2022 年度 第 4 回熱処理技術セミナーご案内　New★
【一般社団法人日本熱処理技術協会】
Ｃ-2．「難削材とその加工技術 - 加工の基礎から知能化まで」
【公益社団法人精密工学会】【公益財団法人 精密測定技術振興財団】

Ｄ．素形材産業政策関連－トピックス・募集等－【●●●☆】
Ｄ-1.統計　【経産省】New★
Ｄ-2.ＤＸセレクション２０２３を実施します　【経産省】New★
Ｄ-3.ＤＸによる地域経済の発展とウェルビーイングの向上を支援する
「地域ＤＸ推進ラボ」の公募を開始します　【経産省】New★
Ｄ-4.下請取引の適正化について、関係事業者団体に要請しました　【経産省】New★
Ｄ-5.「物価高克服・経済再生実現のための総合経済対策」を踏まえた
事業者支援の徹底等について要請しました　【経産省】New★
Ｄ-6.「産業のＧＸに向けた資金供給在り方に関する研究会 施策
パッケージ」をとりまとめました　【経産省】New★

※※※

様な側面から具体的な活用の取組みをご紹介します。

●令和５年１月27日（金）10:00～16:30
　オンラインセミナー（Cisco Webex Meetings を使用）
●プログラム　　コーディネーター　大同大学　前田　安郭 氏

１．ものづくりにおけるDX
～ 機械加工を進化させる革新的データ活用／デジタルツイン
　神戸大学大学院　白瀬　敬一 氏
２．鋳造CAEにおけるV&Vの考え方と事例
　大同大学　前田　安郭 氏
３．DX技術×最適化技術を活用した製造現場における生産性の向上
　三重大学大学院　矢野　賢一 氏
４．AI を活用したダイカスト品質向上の取組み
　(株)豊田自動織機　井上　雅昭 氏
５．生型量産ラインにおけるICTを用いた品質改善活動の取り組み
　(株)クボタ　白沢　卓大 氏
６．総合質疑
　司会　大同大学　前田　安郭 氏

■詳しい内容やお申込みは、こちらをご覧ください。
https://www.sokeizai.or.jp/files/libs/1411/202212021540192077.pdf

【問合せ先】
一般財団法人 素形材センター 企画部
e-mail:kensyu@sokeizai.or.jp
∞∞

Ａ-2. 素形材技術セミナー　　New★
「鋳造欠陥における『新なぜなぜ分析手法』と実際の現場での活用事例の演習」

　鋳造不具合を、繰り返し起こっているような慣例化した不具合名で、処理してしまっている事は多くないでしょうか？真の不具合原因を突きとめる事ができなければ、正しい対策を打つことはできません。鋳造は、液体から個体への相変態を伴う加工法であるために、他のものづくりとは異なる鋳造独特の不具合の傾向とその分類手法があります。本セミナーの「新なぜなぜ分析手法」は、不具合品を、場所「部分・全体・内側・外側」や様子「模様・穴・異物」形態「平滑・ギザギザ・自形・他」で分類し、最後に因子「鋳型・溶湯」に分けて考察することにより、正しい不具合名とその主たる原因を見つけ出す、QC手法とは異なる鋳造独特の新しい不具合解析の手法です。
本セミナーはグループ討議を通じて「新なぜなぜ分析手法」を体感して頂く内容なっております。鋳造欠陥特有の分類手法で欠陥を分類し、名医のように欠陥の原因と対策ができる技術者を育てる事を目的とした講座です。簡易な分類手法ですので、１人でも多くの鋳造に関わる技術者やユーザー及び商社関係の方々の参加をお待ちしております。

●令和５年２月10日(金)　10:00～17:00
　機械振興会館　６階6-67号室　　東京都港区芝公園3-5-8
●プログラム　　コーディネーター　(株)木村鋳造所　菅野利猛　氏

１.「新なぜなぜ分析手法」の説明
２. グループ討議によるなぜなぜ分析の演習（不具合事例１）
３. グループ討議によるなぜなぜ分析の演習（不具合事例２）
４. グループ発表/正解の解説及び各種相談事受付け
(株)木村鋳造所　菅野利猛 氏　/　(株)木村鋳造所　　姜 一求 氏

■詳しい内容やお申込みは、こちらをご覧ください。
https://www.sokeizai.or.jp/files/libs/1414/202212021548443355.pdf

【問合せ先】
一般財団法人 素形材センター 企画部
e-mail:kensyu@sokeizai.or.jp
∞∞∞

クオリカ(株)　木下文昭　氏

令和5年1月24日(火)オンライン研修講座
5.造型技術の基礎【生型造型法の砂管理と造型】
(公社)日本鋳造工学会　佐藤和則　氏
5.造型技術の基礎【自硬性鋳型の砂管理と造型】
(株)木村鋳造所　菅野利猛　氏
5.造型技術の基礎【中子の砂管理と造型】
(公社)日本鋳造工学会　佐藤和則　氏
6.品質管理とQC7つの道具
小林技術士事務所　小林良紀　氏
6.品質管理と品質保証【組織試験、機械的性質試験】
元 日立金属(株)　五十嵐芳夫　氏

令和5年1月26日(木)集合型研修講座
6.品質管理と品質保証【非破壊検査】、全体のまとめ
(有)日下レアメタル研究所　鹿毛秀彦　氏
工場見学　(株)ハイキャスト

■詳しい内容やお申込みは、こちらをご覧ください。
https://www.sokeizai.or.jp/files/libs/1378/20221104120718737.pdf

【問合せ先】
一般財団法人 素形材センター 企画部
e-mail:kensyu@sokeizai.or.jp

∞∞

Ａ-4. オンライン新素形材産業動向研究会のご案内　New★
「車載用全固体電池・電力貯蔵蓄電池の技術開発動向」

当センターでは、賛助会員の皆様に、情報提供と意見交換の場として「新素形材産業動向研究会」を立ち上げております。今年度第4回研究会を下記の通り開催します。皆様のご参加をお待ちしています。

■日　時：　令和5年1月23日(月)　13:30～15:00
■テーマ：　「車載用全固体電池・電力貯蔵蓄電池の技術開発動向（仮)」
■講　師：　一般財団法人　電力中央研究所　エネルギートランスフォーメーション研究本部　エネルギー化学研究部門　上席研究員　小林　剛氏

【問合せ・申込み先】
一般財団法人 素形材センター 企画部（中野）
e-mail:kikaku@sokeizai.or.jp

※※※

【主な掲載内容】
◆特集　「素形材月間」報告
◇令和４年度　素形材月間事業
◇「素形材産業技術賞」選考経過報告
◇第３８回素形材産業技術賞受賞者
【経済産業大臣賞】
◇順送プレス打抜き型内接着積層技術による電動車駆動用モータコア製造技術の開発
【中小企業庁長官賞】
◇鋳物砂のＬｏＩ(強熱減量)監視装置と砂再生システムの開発
【経済産業省製造産業局長賞】
◇スタックモールド鋳造法による自動車用大型ブレーキ部品製造技術の開発
【素形材センター会長賞】
◇多孔質電鋳金型を用いたフィルム真空成形と射出成形の連続工法の開発
◇成形不具合の自動検出とトライの高効率化を実現するプレス金型圧力の動的可視化システムの開発
◇環境負荷に配慮した真空浸炭焼入プロセスと量産設備の開発
【素形材産業技術表彰委員会特別賞】
◇水中の超音波振動と脱気を利用したバリ取り洗浄技術の開発
◇熱処理シミュレーションと金属３Ｄプリンターによる誘導加熱用加熱コイルの開発
◇ＩｏＴ活用による一個流し冷間鍛造ヨーク生産ラインとＤＸ生産管理システムの開発
◇耐破壊型ダクタイル鋳鉄製小便器の開発
◇「素形材産業優良従業員表彰」選考経過報告
◇第６０回素形材産業優良従業員表彰受賞者
◆政策 TREND
◇新たな総合経済対策による電気・ガス価格激変緩和対策、省エネ補助金について

他、文献速報、素形材工業生産実績、年間目次などを掲載

■バックナンバーも含め、下記よりお申込みいただけます。
https://www.sokeizai.or.jp/pages/30/

【申込み・問合せ先】
一般財団法人 素形材センター 業務部
e-mail:gyoumu@sokeizai.or.jp

※※※

ように活かされてきたのか、また様々な応用分野での最新の活用技術について学ぶことができます。ご講演頂く各講師にはそれぞれの分野にて著名な先生方をお招きいたしました。また、本セミナーは基礎から応用まで本主題に沿ったプログラム構成になっており企業における人材育成にも役立てて頂けます。貴社の社員教育にご活用いただければ幸甚に存じます。多数の参加を期待しております。

◆日　時：2023 年 3 月 22 日(水)，23 日(木)
◆会　場：オンライン参加（Zoom Webinar）80 名
　　対面参加　製粉会館 5F 第 2・3 会議室 先着 20 名
◆参加費：正会員 36,000 円(税込)　維持会員 36,000 円(税込)
　　非会員 56,000 円(税込)
◆申込締切：2023 年 3 月 9 日(木)
◆申込方法・詳細：下記 URL をご覧下さい。
詳細：https://jsht.or.jp/wp-content/uploads/2022/12/2022_4seminar_a.pdf
申込方法：
https://forms.office.com/pages/responsepage.aspx?id=YBahmYqg4EqU2KCKdfg_PrlOYv1ucMpPg51chIoTnbVUOU9FOE1FQVRZWVBFOUNSQkFXSjQ2SkM4Qy4u

∞∞

C-2.　「難削材とその加工技術 － 加工の基礎から知能化まで」
【公益社団法人精密工学会】【公益財団法人 精密測定技術振興財団】

難削材は優れた特性を持つ材料であることが多く、難削材を自由にかつ高精度に加工できる技術の需要は今後ますます高まっていくことが予想されます。本講習会では、航空機エンジン材料から複合材や形状記憶合金、セラミックス等の硬脆材料まで幅広い難削材を対象として材料の特性やその加工技術を紹介します。また、難削材の加工の基礎から先端の研究事例、センサを用いた工作機械の知能化技術まで、加工に関する幅広い情報を提供いたします。多くの方々のご参加をお待ちしております。

◆日　時：2022 年 12 月 13 日(火)～27 日(火)
◆会　場：Box というクラウドサービスを用いてオンライン開催いたします。
◆定　員：制限なし
◆参加費：会員（賛助会員および協賛団体会員を含む）17,000 円
　　学生会員 2,000 円，非会員 31,000 円，学生非会員 7,000 円
◆申込締切：2022 年 12 月 21 日(水)
◆申込方法・詳細：下記 URL をご覧下さい。
https://www.jspe.or.jp/wp/wp-content/uploads/course/426.pdf

※※※

https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/seidou/result/ichiran/08_seidou.html
○鉄鋼需給動態統計調査（１０月分）
https://www.meti.go.jp/statistics/sei/tekkouzyu/index.html
○鉄鋼生産内訳月報（１０月分）
https://www.meti.go.jp/statistics/sei/tekkousei/index.html
○石油統計月報（１０月分）
https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/sekiyuka/index.html
○鉱工業生産・出荷・在庫指数速報（１０月分）
https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/iip/result-1.html
○製造工業生産予測指数（１１月調査）
https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/yosoku/result-1.html
○鉱工業出荷内訳表、鉱工業総供給表（１０月分）
https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/utiwake/result-1.html

∞∞∞

転資金等の需要が高まることを踏まえ、中小企業・小規模事業者に対する金融の円滑化について、関係機関に対し、以下のとおり要請しました。
■詳細は以下をご覧ください
https://www.meti.go.jp/press/2022/11/20221128006/20221128006.html
∞∞∞